

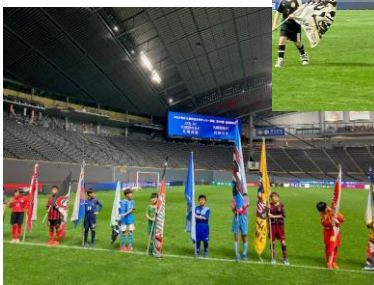


きずな



札幌地区少年サッカー連盟の総合開会式が開催されました。今年度は厚別公園競技場の改修工事の影響で開催が危ぶまれましたが、北海道コンサドーレ札幌と札幌ドームの御協力により、4月20日に札幌ドームでの開催となりました。

まずは、開会式前のコンサドーレ札幌 VS サンフレッチェ広島の試合を全チームで観戦しました。スパチョク選手のゴールに大歓声で盛り上がったあとは、広島のパスワークから何度も訪れるピンチに悲鳴のような声があがる展開でした。結果は1対1の引き分けでしたが、チームメイトや他のチームの選手と楽しく観戦したことは素敵な思い出の一つとなったようでした。



一般のお客さんやサポーターが会場を後にしたところで開会式が始まりました。

各チームのキャプテンがチームを代表し、団旗をもって入場しました。緊張の入場の中でチーム名がコールされると、旗を大きく振るキャプテンに

え、スタンドからは大歓声があがっていました。

今年度より就任した藤田会長からは4つ大切にしてほしいものがあると、選手への呼びかけがありました。

①ボールがあればできるのがサッカー。だからこそボールや用具を大切にすること。②一人ではできないスポーツであることを理解し、仲間を大切にすること。③審判への敬意をもち、ルールを大切にすること。④サッカーをやらせてもらえることへの感謝の気持ちを大切にすること。「できますか?」という問いかけにスタンドからは力強い返事が響きました。



試合を終えたばかりの荒野選手が駆けつけてくれて、メッセージをくれました。大きな夢をかなえるために、まずは今年1年を一生懸命がんばること、「ありがとう」の言葉を支えてくれる人に伝えることの二つをしっかりと



やりやれば大きな夢に近づけるというお話でした。また、「ぜひ近い将来コンサドーレの選手となって、今日の引き分けを勝ちにできるように、共に頑張っていこう」という嬉しいメッセージもありました。

選手宣誓は、札幌大谷地6年の阿部蒼心選手でした。支えてくれる人たちへの感謝と1年間フェアプレーを続けることへの気持ちなどが力強く述べられ、



盛大な拍手の中、開会式は終わりました。

こうして、2024年度の札幌の少年サッカーが開幕したのです。